令和8年度 伊丹市民意識調査結果　概要

調査期間・配布数

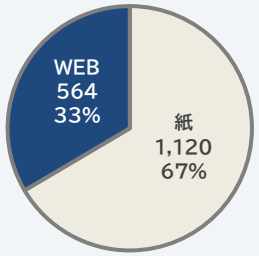
【調査期間】
令和8年7月8日～24日

【配布数】
3,150件（郵便不着9件）

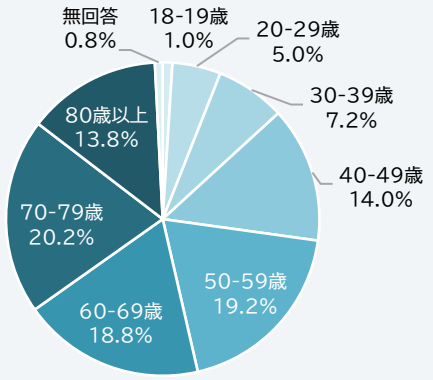
回収状況

1,684件

回収率 53.6%
R5調査時49.2%（+4.4pt）



回答者の年代構成



■住みやすさについて

住みやすい※
89.3%
うち「非常に住みやすい」21.6% → 27.7%（+6.1pt）

※「非常に住みやすい：27.7%」と「住みやすい：61.6%」の合計

住みにくい※
0.8%

※「非常に住みにくい：0.1%」と「住みにくい：0.7%」の合計

■定住志向について

住み続けたい
83.2%
76.9% → 83.2%（+6.3pt）

市外へ移りたい
3.4%
20代で高い割合

市内に住み続けたい主な理由

日常の買い物が便利	74.7%	（R5調査時72.2%）
安全・安心	63.0%	（　〃　58.2%）
交通の便が良い	41.6%	（　〃　36.8%）

※R5年度市民意識調査と同じ順位

優先的に取り組んで欲しいと思う項目

大綱1　交通安全・地域防犯	35.6%
大綱2　子育て・子育ち	20.7%
大綱3　高齢者福祉	35.3%
大綱4　雇用と労働	25.7%
大綱5　交通	19.6%
大綱6　広報・広聴	32.5%

調査結果のポイント

1.「住みやすさ」・「定住志向」は前回調査（R5）時点から増加
2. 主な住み続けたい理由は「生活利便性・安全安心・交通利便性」が上位
3.各大綱から1つを選択した「優先的に取り組んでほしい項目」の上位は次ページ参照
4. 若年層の意見は、年代別ニーズを踏まえた対応が必要

6つの大綱別にみた優先項目

各大綱で「優先的に取り組んでほしい」施策の上位3項目

大綱1｜安全・安心

①交通安全・地域防犯	35.6%
②災害対策	34.1%
③消防・救急	23.3%

（主な記述意見）

①自転車のルールが厳しくなったが、住んでいる地域ではあまり変化を感じない。本当に危ない。
②あと数十年の間に南海トラフ地震が発生すると言われているから。
③一人暮らしのため、急病などの不安がある。

交通安全・地域防犯、災害対策が上位

大綱2｜育ち・学び・共生

①子育て・子育ち	20.7%
②生涯学習・スポーツ	14.4%
③人権	11.1%

（主な記述意見）

①子育てに費用がかかりすぎる為。
②地域のつながりのきっかけとして、機会を増やしてほしい。
③差別のない社会を希望しているため。

子育てを軸に学びと共生への期待

大綱3｜健康・医療・福祉

①高齢者福祉	35.3%
②地域医療	32.0%
③健康づくり	14.4%

（主な記述意見）

①自分たちが高齢者なので、これからが不安なので。
②大きい病院ほど予約または紹介などがないと診察できない状態の上、待ち時間が長いので、配慮をお願いしたい。
③予防こそが、負担を減らすと思うから。

高齢者福祉、地域医療への期待

大綱4｜市民力・にぎわい・活力

①雇用と労働	25.7%
②市民力・地域力	17.8%
③都市ブランド	13.5%

（主な記述意見）

①老齢になっても働ける環境を作って欲しい。
②地域とのつながりは大切だと思うから。
③アピールできるところが多いのに全国知名度はいまいちだと実感しているから。

雇用と地域活力の創出が中心

大綱5｜環境・都市基盤

①交通	19.6%
②公園・緑地・生物多様性	15.3%
③水道・下水道	14.3%

（主な記述意見）

①もう少しバスの便を増やしてほしいと思う。
②公園でサッカーやボール遊びが出来るような環境。
③全国的にも、老朽化が不安視されているため。

移動・緑・基盤のバランス整備

大綱6｜参画と協働・行政経営

①広報・広聴	32.5%
②行財政運営	25.9%
③ICTの活用	17.0%

（主な記述意見）

①今まで以上に広報紙をわかりやすくしてほしい。
②必要なところに、必要な税金を使ってほしい。
③高齢者でもわかりやすいシステム作り。

伝わる行政と効率的な経営

個別テーマの調査結果｜要点ピックアップ

各個別テーマ主な2設問・上位回答を掲載

教育・子ども

問7｜一人ひとりを支える教育

安心して過ごせる居場所 62.7%

個々に応じた学び・支援 41.6%

問9｜育ちや学びに必要な取組

放課後等の居場所充実 52.3%

多様な学び・支援 40.1%

・居場所の充実が最優先。
・個々に応じた多様な学び・支援も重視。

交通安全・自転車

問10｜自転車の利用頻度

ほぼ毎日 32.7%

週に数日 22.6%

問14｜有効な周知・啓発手段

街頭での啓発活動 43.2%

チラシ配布 41.1%

・半数以上の方が自転車を週に数日以上利用。
・街頭・紙・SNSの複線化が有効。

施設の利用状況

問16｜利用経験

昆虫館 68.0%

こども文化科学館 46.1%

みどりのプラザ 21.7%

問18｜施設に期待すること

昆虫館 学びや教養 52.3%

こども文化科学館 学びや教養 51.1%

みどりのプラザ 交流の場 18.8%

・昆虫館の利用経験が最多。
・昆虫館・こども文化科学館は学びへの期待が高い。

みどり・防災

問21｜みどり・自然への満足度

普通 47.2%

満足・やや満足 43.7%

問24｜災害への備え

水・食料等の備蓄 59.9%

避難場所の確認 44.5%

・みどり・自然への満足度は「普通」が最多。
・備蓄は進む一方、避難・連絡行動の底上げが必要。